

### 来年度予算編成に向けて

高木章成  
(子どもの権利)

①市長が就任されて10か月になるが、本年度予算の執行状況について自身の政策意図は十分に反映できているか。(イ)改善したい課題認識は。

市長 (ア)基本構想・前期基本計画に基づく予算であり政策意図を反映。(イ)現時点で評価、課題を述べることは差し控える。

②保育園2園の募集停止が進んでおり、市長の政策意思が執行に反映されず市長の公約に反することになっているのではないかと。市長 二元代表制の観点からも適切に業務を行っている。

③どのようなものを白井カラーとして盛り込み、削るとお考えか。市長 本市における課題、市長として公約に掲げたこと、財政状況や財政規律など踏まえ、政策の優先順位を持ち、判断し、適切に組んでいきたい。

### 都市計画道路3・4・1号線の諸問題について

古畑俊男  
(子どもの権利)

東京都施行の優先整備路線である小金井3・4・1号線は、国分寺崖線を通り、市内を東西に縦断する。(ア)当計画は直接公園計画に重複する面積は少ないが、周辺の自然環境に与える影響についての見解は。(イ)計画線から南側の地域は十分な道路環境とは言えない。もし小金井3・4・1号線の整備があるとすれば、同時に周辺地域の抜本的な対策が必要である。また、計画では小金井街道前原坂下交差点と重なり、複雑な変則五差路となる。中央線の高架が完了したにも関わらず、現在も朝夕の渋滞が発生し

ている。小金井3・4・1号線が前原坂下交差点に直結することにより、今以上に渋滞が激しくなるのではないかと。(ウ)都市計画は自然環境保全や交通ネットワーク構築の観点から慎重に議論されるべきである。部長 (ア)道路計画と公園計画の重複する面積のみで自然環境への影響を評価するのは難しい。

部長 (イ)都市計画道路はネットワークの検証が行われ、必要性が確認されている。市長 (ウ)環境保全の機能を有する公園計画と道路等の都市計画との関係を勘案し、適切に対応する。

### 学校における命の授業の充実を

渡辺ふき子  
(公明党)

①国は子どもたちを性犯罪・性暴力の被害者や加害者・傍観者にしないことを目標に、命の安全教育を推進している。一方、日本思春期学会では、10代20代の若い世代の性感染症の急増を受け、義務教育において正しい知識と適切な行動を学ぶことを提唱している。

②子どもの読書活動推進春期学会では、10代20代の若い世代の性感染症の急増を受け、義務教育において正しい知識と適切な行動を学ぶことを提唱している。

③国は子どもたちを性犯罪・性暴力の被害者や加害者・傍観者にしないことを目標に、命の安全教育を推進している。一方、日本思春期学会では、10代20代の若い世代の性感染症の急増を受け、義務教育において正しい知識と適切な行動を学ぶことを提唱している。

### 子どもたちみんなで見守り地域の中で

遠藤百合子  
(自民党・信頼)

子どもの安全・安心の確保は家族にとって最大の関心事で、社会全体で取り組む必要がある。(ア)子どもを見守る家、カンガルーのポケットの現状と今後は。(イ)登下校時の見守り体制は。(ウ)防災行政無線「ふれあいメロデー」活用は。(エ)安全・安心まちづくり条例の動向は。(オ)安全・安心メール配信システムの現状と利用拡大は。(カ)わんわんパトロールの理解と協力は。(キ)民間事業者との連携は。

2年度にデザインを一新し、ステッカーからプレート型に変更。今後は防犯講習会を企画したい。(イ)PTA・学務課・小金井警察・道路管理課・交通対策課の通学路点検で指摘箇所を対応する。部長 (ウ)企画政策課と連携し、小金井市歌を楽曲とする形で進めている。(エ)小金井市防犯指針を定め効果的な防犯作りに努める。(オ)登録は1万730件、令和5年度からは気象情報・Jアラートと連携している。(カ)小金井・国分寺防犯協会で8団体と活動継続している。(キ)2事業者と協定締結、11事業者に協力要請している。

6件で、登下校と共に地域で安全に過ごす見回りの場としての役割があり、令和

### HPVワクチン副反応周知を震災井戸は安全か

安田けいこ  
(生活者ネット)

①子宮頸がん予防ワクチンから呼称変更したHPVワクチンの副反応被害について。(ア)令和3年度に本市で発生した被害者の接種時の学年、ワクチンの種類と接種回数、症状と治療法、現在の状況は。(イ)進路に関わる大切な時期だが、学校や医師会との連携は。(ウ)接種を勧奨した自治体としての責任は。(エ)接種者536人で被害発生は頻度が高い。接種者の追跡調査をするべき。(オ)男子への接種について、1月から3月の厚労省の副反応報告で重篤11名中死亡1名とある。学齢期の男子への接種の効果とリスクについて市の考えは。(カ)市内での副反応被害を接種対象者に周知するべき。

②(ア)災害時に給水所で配布する水は浄水か原水か。(イ)震災対策用井戸の水は飲用に適しているのか。PFAS検査はしているか。部長 (ア)水道水と同じ浄水である。(イ)適している井戸と適していない井戸がある。PFAS検査はしていない。

③(ア)災害時に給水所で配布する水は浄水か原水か。(イ)震災対策用井戸の水は飲用に適しているのか。PFAS検査はしているか。部長 (ア)水道水と同じ浄水である。(イ)適している井戸と適していない井戸がある。PFAS検査はしていない。

### 昨年訴えた不登校支援の重層的取組の現状を問う

岸田正義  
(みらい)

「制度に子どもを当てはめるのではなく、子どもに制度を合わせていく必要がある」と訴えた不登校支援の重層的取組について問う。(ア)現在の不登校児童生徒数は。(イ)不登校の30%、40%が発症すると言われる起立性調節障害の児童生徒数は。大きな課題でありながら、実態や苦しみが知られていない。ガイドラインを作成して周知啓発すべき。(ウ)フリースクール等民間支援施設は必要と考えるか。連携状況は。利用者や施設へ経済支援すべき。(エ)中学校の学習支援に注力すべき。(オ)新たに始まった校内別室指

導の状況は。教室ではない居場所として期待しており、全校で設置していくべき。(カ)今後の不登校対策は。部長 (ア)小学校150名、中学校120名。(イ)正確な人数は把握していない。理解促進について調査研究したい。(ウ)必要である。フリースクール主催者を招致し副校長会で講演会を行った。経済的支援は東京都事業や他市の動向に着目していく。(エ)効果的な学習支援の在り方を模索していく。(オ)周知や指導方法含めて手探りの部分がある。居場所の選択肢として充実させていきたい。

市長 (カ)目指すは公的な学びを保障し、選択できる環境を整えることである。

### 男子へのHPVワクチン接種に市の助成を求め

清水がく  
(街の仲間たち)

HPVは性交渉で感染する。接種をしていけば性交渉によって相手にヒトパピローマウイルスを感染させるリスクを減らし、女性の子宮頸がんの発症を防ぐことができる。

男性においても中咽頭がん、陰茎がん、肛門がん等を予防する効果がある。がんで苦しむ方々を減らすために男女ともにHPVへの集団免疫をつくるのが急務であるし、HPVワクチン接種が大きな効果にもつながる。そのためにも、選り抜ける任意接種において市の助成が必要と考える。

頭頸部外科学会はHPVワクチンの男子への定期接種化を国に要望し、東京都医師会も東京都に同様の要望をした。私からも市に対し、機会あるごとに国や東京都にHPVワクチンの定期接種化の要望をすることを求める。

### 香りのマナーでなく香害化学物質過敏症の周知を

坂井えつ子  
(緑・つながる)

国が5省庁合同で作成した啓発ポスターの文言を「知ってください。その香り困っている人もいます」と改訂した。香り付き製品は使用量を守っても影響が出る方がいるため、十分ではないが周知は必要だ。(ア)消費生活相談室に相談はあったのか。(イ)健康被害の声を聞くことからも香害・化学物質過敏症として捉えることが必要ではないか。(ウ)周りの人が知ることが必要ではないか。(エ)市民部と福祉保健部で、取り組みの答弁があった。国の5省庁連名の周知のような横断的な周知を、総合調整権のある市長に求める。

課長 (ア)2022年度に1件あった。(イ)消費者相談全体に占める割合は低いが、個々の相談者の状況は深刻だ。国のポスター改訂を受け、「香りのマナー」啓発ポスター改訂を予定している。部長 (ウ)様々な特性を持つ人が共に生きる社会を目標とする点においても一定の周知は必要であると考えている。ホームページへの掲載が考えられる。部内で考える。

市長 (エ)化学物質が日常生活に蔓延しているという点、香害に苦しんでいる方がいることを、改めて問題提起をご丁寧いただいた。庁内横断的な周知も含めて取り組んでまいりたい。